

東急大井町線の溝の口駅への延伸時期が2009年6月に決定

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、このたび、大井町線（大井町～二子玉川）の溝の口駅への延伸時期を2009年6月とすることを決定しました。これにより大井町線には、新たに溝の口駅が加わり、全16駅、営業キロ12.4kmの路線になります。

当社では、田園都市線の朝ラッシュ時における高い混雑率（2006年度の池尻大橋～渋谷間・最混雑1時間平均の混雑率は196%）を重要な課題と位置付け、同線の混雑緩和に努めています。この一環として、大井町線を溝の口駅まで延伸し、大井町～溝の口間で急行運転を行うことにより、田園都市線沿線から都心方面へ向かうルートを選択肢を増やし、利便性の向上と田園都市線の混雑緩和を目指します。なお、本年3月28日には、先行して大井町～二子玉川間での急行運転を開始します。

当社では、田園都市線の混雑緩和を図るため、1993年から「大井町線大井町～二子玉川間改良工事および田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化工事」を進めており、二子玉川～溝の口間は2002年1月から工事を行ってきました。今回の大井町線の溝の口駅への延伸により、二子玉川～溝の口間（営業キロ2.0km）が複々線化されます。

大井町線の溝の口駅への延伸の概要は次のとおりです。

大井町線の溝の口駅への延伸の概要

延伸時期 2009年6月
延伸区間 二子玉川～溝の口間（営業キロ約2.0km）
これにより大井町線は大井町～溝の口間、全16駅、営業キロ12.4kmの路線になります。

（参考）大井町線大井町～二子玉川間改良工事および田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化工事の概要

着工時期 1993年
工事内容 二子玉川～溝の口間を複々線化し、大井町線を溝の口まで延伸するとともに、溝の口～大井町間で急行（6両編成、各駅停車は5両編成）の運転を行うために、大井町線の施設を改良する工事です。
事業効果 溝の口～大井町間の朝ラッシュ時の所要時間を現行の31分（各駅停車）から22分（急行）に短縮し、田園都市線から都心へ向かうルートを選択肢を増やすことにより、田園都市線の混雑緩和を図るものです。なお、この事業は特定都市鉄道整備事業計画の認定を受けて進めているものです。

以上